



公益社団法人 岡山県診療放射線技師会

岡放技ニュース

2026. 8 No. 352

〒700-0867 岡山市北区岡町 16-10-201

TEL 086-235-1313 FAX 086-235-1515

MAIL: oart@oart.jpOkayama Association of Radiological Technologists Since November 21st 1951 URL: <http://www.oart.jp>

発行責任者 高尾 渉 編集者 編集委員会

会告

第164回 岡放技セミナー

主催 : 公益社団法人 岡山県診療放射線技師会

日時 : 令和8年9月5日(土) 14:00~17:00(受付 13:30~)

場所 : 岡山済生会総合病院 管理棟 4 階
 さいゆうホール
 岡山市北区国体町 2 番 25 号

開催方法 : 集会および webinar(参加方法などの詳細は
 岡山県診療放射線技師会ホームページ
<http://www.oart.jp/> を参照ください)

参加費 : 会員・学生は無料 非会員 2,000 円

お申込み : 岡山県診療放射線技師会ホームページ
 事前参加申請フォームよりお申し込み下さい



アクセス

後援 : 岡山県(疾第 280 号)

- * 岡放技セミナーには「日本診療放射線技師会学術研修カウント」が付与されます
- * 本セミナーの受講により岡山県生活習慣病検診等管理指導協議会肺がん部会の定める精密検診機関基準は満たされます
- * オンラインにつきましては何かしらの通信障害が発生する可能性が有りますことをご了承ください

【情報交換会】 18:00~ 場所 : じぶんどき 岡山駅前店

参加費 : 5,000 円

*事前参加申請フォームよりお申し込みください

— プログラム —

14:00～14:05 【開会挨拶】

14:05～14:50 令和 8 年度岡山県生活習慣病検診等管理指導協議会 第 1 回肺がん部会研修会

【教育講演】

座長 岡山済生会総合病院 西山徳深 先生

岡山済生会総合病院 原裕樹 先生

『 Photon Counting CT と胸部領域 』

講師 岡山大学病院 井上智洋 先生

14:50～16:55 特別企画：育児も仕事も研究も ～それぞれのワークライフバランス～

座長 尾道市立市民病院 藤原佑太 先生

川崎医療福祉大学 杉本昂平 先生

【基調講演】 14:50～15:40

『 がんばりすぎずできることをこつこつとやってみる 』 倉敷中央病院 福永正明 先生

『 〈続ける〉をやっていく ～育児・仕事・研究、それぞれの両立 』

川崎医療福祉大学 荒尾圭子 先生

【特別講演】 15:40～16:20

『 私のワークライフバランス 認定や研究とどう向き合うか 』

徳島市民病院 西山由佳子 先生

休憩・会場準備

【パネルディスカッション】 16:30～16:55

モデレーター 藤原佑太 先生

杉本昂平 先生

パネリスト 福永正明 先生

荒尾圭子 先生

西山由佳子 先生

16:55～17:00 【閉会挨拶】

“Photon Counting CT と胸部領域”

/***** 井上先生よりメッセージ *****/



共働き核家族における2児の父親です。下の子の誕生日がJRCの開催期間に重なる事が多いのですが、今年は被らなかったので久しぶりに参加させていただきました。

ITEM2026ではCANONとGEのPhoton Counting CTのお披露目がありました。まだまだ広く普及するとは言えない現状ですが、ITEM2026で見聞きしてきたことを交えながら紹介したいと思います。またPhoton Counting CTでは、従来の再構成関数やノイズ低減処理に加えて、仮想単色X線画像のエネルギーの選択といった“画像の作

りこみ”要素が多い装置で、何よりも後からいくらでも再構成できるという強みがあり、臨床への提供画像は工夫次第で色々なモノが出来上がります。

今回は画像処理も含めて胸部領域、とくに肺に注目して当院におけるPhoton Counting CTの使い方を紹介したいと思います。

< 略歴 >

【学歴】

平成 25 年 4 月 岡山大学医学部保健学科卒業

平成 30 年 3 月 岡山大学大学院保健学研究科放射線技術科学分野修了

【資格】X線CT認定技師、画像等手術支援認定診療放射線技師

【所属学会】日本診療放射線技師会、日本放射線技術学会、岡山県診療放射線技師会

【受賞歴】

令和 5 年 11 月 日本放射線技術学会 中国・四国支部 奨励賞



“がんばりすぎずできることをこつこつとやってみる”

/***** 福永先生よりメッセージ *****/

< 略歴 >

【学歴】

平成 22 年 3 月 徳島大学医学部保健学科放射線技術科学専攻卒業

平成 29 年 3 月 県立広島大学大学院総合学術研究科保健福祉学専攻修了

令和 3 年 9 月 金沢大学大学院医薬保健学総合研究科（博士後期課程）修了

【所属学会】

日本診療放射線技師会、日本放射線技術学会、日本CT技術学会、日本X線CT医学会、医用画像管理学会、医用画像情報学会、日本保健物理学会、医療の質・安全学会

【資格・免許・受賞歴】

平成 24 年 医療情報技師

平成 28 年 X線CT認定技師、放射線管理士、放射線機器管理士

平成 29 年 ICLS 認定インストラクター、救急撮影認定技師

平成 30 年 日本DMAT隊員

令和 5 年 X線CT専門技師

令和 7 年 画像等手術支援認定診療放射線技師

【委員会等】

厚生労働科学研究費補助金（地域医療基盤開発推進研究事業）放射線診療の発展に対応する

放射線防護の基準策定のための研究（細野班）（2022年度～）

日本X線CT専門技師認定機構 将来構想委員会（2024年度～）

日本保健物理学会医療被ばく国民線量評価委員会（2024年度～）

日本放射線技術学会 放射線防護委員会（2025年度～）

Radiological Physics and Technology Associated Editor（2026～）

私は、2児（4歳と1歳）のパパです。仕事は、医工連携による業務改善活動を担っている医療イノベーション推進室と兼務をしています。

研究活動は、年に一本の筆頭論文を投稿することを目標にしつつ、後輩技師の論文投稿を支援しています。学会等の外部委員は、線量管理やX線CTに関わる委員会、Radiological Physics and Technology Associated Editor等を担っています。

私は2020年に結婚し、その前後で生活スタイルが大きく変化し、研究や勉強の時間確保が難しくなってきました。一方で、職場や外部からは、様々な役割を担うようになりました。

本講演は、私のこれまでの研究や経験を紹介し、現在の育児・仕事・研究に対する「がんばりすぎずできることをこつこつとやってみる」についてお話させていただきます。

“〈続ける〉をやっていく ～育児・仕事・研究、それぞれの両立”

/***** 荒尾先生よりメッセージ *****/



< 略歴 >

【学歴】

平成 20 年 川崎医療短期大学 放射線技術科卒業

平成 27 年 独立行政法人大学評価・大学授与機構 保健衛生学士取得

平成 31 年 岡山大学大学院保健学研究科博士前期課程 修了

【所属歴】

平成 20 年 倉敷成人病センター

平成 26 年 川崎医療短期大学

平成 30 年 川崎医療福祉大学

子育てをしながら働き、さらに研究や学会活動を続けていくことは、やりがいがある一方で、「時間が足りない」「思うように進まない」と感じる場面も多くあります。特に診療放射線技師の研究活動は勤務時間外になることも多く、家庭・仕事・研究のバランスに悩みながら取り組んでいる方も少なくないと思います。

本セミナーでは、子育てをしながら臨床・教育・研究活動に関わってきた経験をもとに、それぞれの立場や環境に応じた“続け方”についてお話します。完璧を目指すのではなく、周囲に頼りながら、自分なりのペースで続けていくことの大切さや、学術活動を継続しやすい環境づくりについて、一例としてお伝えできればと思っています。

“私のワークライフバランス 認定や研究とどう向き合うか”

/***** 西山先生よりメッセージ *****/



日々の業務と家庭との両立に追われる中で、自己研鑽や研究などの付加的な取り組みに時間を確保する難しさを感じている方は多いのではないのでしょうか。私自身もその一人であり、限られた時間の中で試行錯誤を重ねてきました。仕事への向き合い方や家庭の比重は人それぞれであり、考え方も様々だと思います。

今回、この会にご参加いただける皆さまに、私の研究に対する思いや、認定技師としてのあり方について、自分なりの言葉でお伝えできればと考えています。また、うまくいかなかった経験談等を交え、少しでも身近に感じていただければと思います。

日々の臨床業務の中には、課題や疑問が数多く潜んでいます。私の研究は、そうした日常の気づきを出発点としています。課題解決への思いから生まれた着想が、研究へと発展し、発信することで医療現場を少しずつ変えていく力になると思います。この会を通じて、忙しい日々の中でも「挑戦してみようかな」と思えるきっかけを持ち帰っていただけると幸いです。

< 略歴 >

【学歴・所属歴】

平成 24 年 3 月 岡山大学 医学部保健学科 卒業

平成 24 年 4 月 岡山大学病院 入職

平成 27 年 3 月 岡山大学大学院保健学研究科 博士前期課程修了

平成 27 年 4 月 島根大学医学部附属病院 入職

平成 30 年 4 月 徳島市民病院 入職

令和 8 年 4 月 徳島市民病院 放射線科 主任主査

【資格】

第一種放射線取扱主任者、検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師、X 線 CT 認定技師、磁気共鳴専門技術者

お知らせ

第 7 回 倉敷リレーマラソン 2026 参加者募集

令和 8 年 12 月 13 日(日)大会開催

福利厚生委員長 迫 寛明

技師会チームの参加者を募集します。技師会の一員として走ってみませんか？



「倉敷リレーマラソン」はメイン会場でもある倉敷マスカットスタジアム改修工事のため、しばらく中止されておりましたが、今年は2年ぶりの開催になります。

そこで岡山県診療放射線技師会では、親睦とスポーツ企画と宣伝を兼ね、技師会代表として一緒に走っていただける方を募集しています。参加者には技師会の宣伝のため、お揃いの岡山県診療放射線技師会デザインのビブスを着用して走っていただきます。

募集人数：10名(1チーム) ※10名上限で申し込み順にて受け付けます。

参加条件：マラソンができる健康な方であればだれでも可。会員、非会員ともに参加可能です。
同僚やお知り合いにお声かけいただきお申込みください。

参加費：3,175円 / 1人 (※早割り金額、技師会から500円補助ありでの金額です)

技師会申込締切：令和8年10月5日(月)

申込先：公益社団法人 岡山県診療放射線技師会 事務局 MAIL：oart@oart.jp

- ※ 申し込みメールの件名は必ず“倉敷リレーマラソン 2026 参加申し込み”として下さい。
- ※ 申し込みでは代表者の氏名、氏名読み(カタカナ)、所属施設名、性別、連絡先(携帯電話、メール)、服のサイズ(メンズ S M L XL、レディース S M L など)を入力してください。
- ※ 複数での申し込みでは代表者以外の参加者全員の氏名、氏名読み(カタカナ)、所属施設名、性別、服のサイズを入力してください。
- ※ 福利厚生委員会がとりまとめて申し込み。大会前に事前に代表者へメールにて詳細をご連絡します。
- ※ 詳細は大会 HP にてご確認ください。

メンズサイズ (JASPO規格)

(単位: cm)

サイズ	XS	S	M	L	XL	2XL	3XL	4XL
身長	157-163	162-168	167-173	172-178	177-183	182-188	187-193	192-198
胸囲	81-87	85-91	89-95	93-99	97-103	101-107	105-111	109-115
ウエスト	67-73	71-77	75-81	79-85	83-89	87-93	91-97	95-101

レディースサイズ (JASPO規格)

(単位: cm)

サイズ	XS	S	M	L	XL	2XL	3XL
身長	147-153	152-158	157-163	162-168	167-173	172-178	177-183
バスト	75-79	78-82	81-85	84-88	87-91	90-94	93-97
ウエスト	56-60	59-63	62-66	65-69	68-72	71-75	74-78

4 時間リレーマラソンルール

- ・ 1 チーム、4 人～10 人で構成。
- ・ 1 人 1 周(約 1.14km)以上走って次走者にリレーします。
- ・ 1 人で何周走っても構いません。走る順番も問いません。
- ・ たすきリレーは、定められたリレーゾーン内のみとします。
- ・ チーム周回数はたすき内に取り付けた計測用チップにて計測します。
- ・ 登録メンバー以外の出走(代理出走)は失格とします。伴走は原則禁止とさせていただきます。
- ・ 仮装による出走は可能ですが、社会モラルに反する仮装や走行に危険を伴う服装では参加できません。
- ・ ラップタイムを記載した「記録証」を大会後に専用サイトからダウンロードできます。

報告

令和8年度 第163回岡放技セミナー(フレッシュャーズセミナー)

開催報告

教育委員長 吉田 勝

主 催 : (公社)岡山県診療放射線技師会・(公社)日本診療放射線技師会
日 時 : 令和8年7月11日(土) 13時00分～17時05分 受付 12時30分～
場 所 : ピュアリティまきび
〒700-0907 岡山県岡山市北区下石井 2-6-41 TEL 086-232-0511

プログラム

- 13:00～13:10 開会式 挨拶 高尾会長
- 13:10～13:55 『新社会人のみなさんへ』 講師 吉田副会長
- 13:55～14:25 アイスブレイク①・共通点探し、成功体験共有
- 14:25～14:55 グループワーク①・理想の放射線技師像、良いチームとは何か、
新人が1年目で困りそうなことTOP3
- 14:55～15:05 アイスブレイク②・10秒お絵かきゲーム、3ワード自己紹介
- 15:05～15:15 休憩
- 15:15～16:15 グループワーク②・5年後の放射線技師の働き方を予想する、
患者さんに選ばれる技師とは何か、理想の職場環境をデザインする
- 16:15～16:25 休憩
- 16:25～16:45 放射線部門に特化した医療安全・動画
- 16:45～16:55 入会案内／JART活動紹介
- 16:55～17:05 閉会式

今年度より、本セミナーは新たな「フレッシュャーズセミナー」へと移行いたしました。これまでの日本診療放射線技師会との共催ではなく、岡山県診療放射線技師会の独自の開催としております。

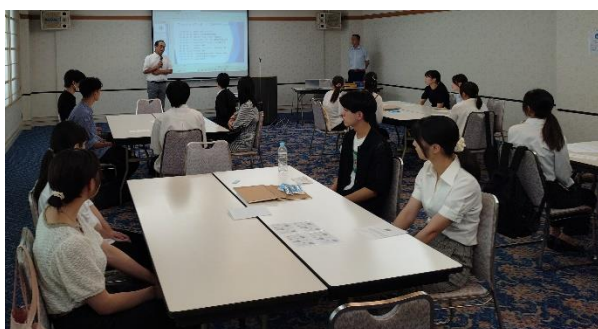
主な理由として、エチケットやマナー、コミュニケーション、感染対策、医療安全、被ばく低減といった基礎講習の内容が、JART（日本診療放射線技師会）の提供する「クリニカルリーダー1」の動画講習に既に含まれていることが挙げられます。そのため、本セミナーで重ねて同様

の講義を行う必要性が無くなった為です。

今回の見直しに伴い、セミナーをグループディスカッション形式へと刷新いたしました。これにより参加者が横のつながりを構築させ、技師会活動を通じて他施設の同期技師との交流を深めてもらうことを新たな目的としております。

当日は 19 名が参加し、4～5 人のグループ 4 班に分かれてディスカッションを行いました。当初の心配をよそに、各班で活発な議論が交わされました。セミナー後の情報交換会では、この班のメンバーがそのまま同じ席につく形をとり、お酒を酌み交わしながらさらに交流を深めていただきました。

これを機に日本診療放射線技師会および岡山県診療放射線技師会の活動を知っていただき、入会への意欲を持っていただけることを願っております。



会場の雰囲気



グループワークの様子

報告

令和8年度 マネジメントセミナー開催報告

組織副委員長 黒瀬 哲也

令和8年7月11日(土)16時より、ピュアリティーまきびにて「令和8年度マネジメントセミナー」を開催しました。当日は26名が参加し、日本診療放射線技師会理事の川守田龍先生を講師にお迎えして、「JARTラダーシステムによる生涯教育の必要性～現状維持は衰退の始まり～」をテーマにご講演いただきました。

講演では、日本の賃金や労働生産性の停滞、人口減少と高齢化の進行など、医療を取り巻く環境の変化について説明がありました。今後は医療機関の集約化や診療報酬の見直し、医療職人口の変化により、診療放射線技師にも専門性だけでなく、幅広い知識と多職種と協働する力が求められることが示されました。また、医療安全への意識の高まりを背景に、医療資格者が一定水準以上の知識と技術を維持し続けるためには、職能団体による継続的な教育体制が不可欠であると述べられました。診療放射線技師のタスクシフトの推進や業務範囲の変化に対応するために、学び続ける姿勢が重要であることを再確認しました。

JARTラダーシステムは、知識ラダー、マネジメントラダーなどを通じて、学習状況を可視化し、段階的に能力を高めるための仕組みです。施設内教育や人材育成、人事考課にも活用できる点が紹介され、2026年からは特定領域の専門性に加え、幅広い領域を理解し、多職種と連携できる診療放射線技師の育成がより重視されることが示されました。ラダーの各レベルでは、必要科目の履修、認定資格の取得、研究活動、人材育成に関する学びなどが求められます。まずはジェネラリストとして多様なモダリティを学び、そのうえで各領域のスペシャリストとして専門性を高めていくことが、今後のキャリア形成において大切であると説明されました。

今回のセミナーを通じて、医療を取り巻く環境が大きく変化するなかで、診療放射線技師も柔軟な発想と多職種連携の視点を持ち、継続して学ぶことの重要性を改めて認識しました。「現状維持は衰退の始まり」という言葉のとおり、変化に対応しながら成長し続ける姿勢を、今後も大切にしていきたいと思います。



会場の様子



講師の川守田龍先生

報告

令和 8 年度 第 25 回情報交換会開催報告

福利厚生委員長 迫 寛明

令和 8 年 7 月 11 日(土)、ピュアリティまきび会場でのフレッシューズセミナーとマネジメントセミナーを終えた後、17 時 30 分より、カジュアルイタリアン『バッジヨ BAGGIO』にて、情報交換会を開催しました。新入会員 6 名、入会予定者 13 名、一般会員 20 名の計 39 名の方にご参加いただきました。

まずは高尾会長の挨拶と乾杯で始まりました。施設ごとの新人紹介、技師会クイズを通じて、大いに盛り上がりしました。最後に、光井副会長の閉会挨拶と一本締めで終了しました。今回から新人の方にはフレッシューズセミナーと同じ班のまま、グループで席についてもらいました。普段なかなか持てない他施設の方との横の繋がりを作る良い機会になったのではないかと思います。

次回はより多くの方に参加してもらえるような企画を考えてまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



会場の雰囲気



今年もありました。クイズコーナー

お知らせ

岡山県診療放射線技師会

公式 LINE アカウントのお知らせ

広報委員会では会員の方のご要望にお応えし、LINE 公式アカウントを開設いたしました。右記 QR コードより「友だち追加」をしていただくことで、ホームページの更新情報をよりスムーズにご覧になれます。多数のご登録をよろしくお願いいたします。



お知らせ

「変更届」提出のお願い

勤務先・自宅住所など**変更をされた方**は、岡放技事務局まで「**変更届**」に変更内容を記入してお送りください。

「**変更届**」用紙は、ホームページのメニュー「入会・変更など」にあります。日本診療放射線技師会 JART にもご入会の方は、JART のホームページよりログイン後、ご自身で登録情報の変更ができます。【推奨】

(ログインできない方は、岡放技への申請により JART の変更支援を致します。)
岡放技独自の会員台帳にて会費管理やニュースの発送など様々な処理をしておりますので、お忘れなくご連絡ください。よろしくお願いいたします。

【送り先】 〒700-0867 岡山市北区岡町 16-10-201
岡山県診療放射線技師会 事務局
FAX : 086-235-1515 Mail: oart@oart.jp

《 追伸 》

過去に引越しをされて、住所変更を出されていない方もおられるようです。確認の為に送って頂くのも歓迎です。よろしくお願いいたします



サーベイメータ貸出について

施設線量測定委員長 土本 真也

岡山県診療放射線技師会では、漏洩線量の測定のため、会員施設を中心にサーベイメータの貸出を行っています。貸出を希望される方は、申込書をファックスかEメールで、岡山県診療放射線技師会までご連絡下さい。

貸出申込書は、岡山県診療放射線技師会のホームページにあります。

サーベイメータの引き渡しは、本会事務室にて行います。

貸出使用料の請求は、本会が使用者あてに後日行います。

サーベイメータ貸出規程

- 1 ALOKA 社製 電離箱式サーベイメータ 1台 (トランシーバー2台を含む)
(サーベイメータは年1回の校正を行っています)
- 2 貸出料金 1週間 **33,000 円**(税抜) 1回の貸出は1週間を限度とする
- 3 会員以外への利用は規程の倍額とする
- 4 本会の活動に有益と思われる場合は代表理事の承認を得て利用料を免除することができる
- 5 使用に関して、故障・水漏れ・落下により修理が必要となった場合、修理費の一部として10,000 円を支払い頂く

※その他、ご不明な点やご質問、ご要望などございましたら、お気軽にお問合せ下さい。





エックス線室の漏洩線量測定事業

施設線量測定委員長 土本 真也

岡山県診療放射線技師会では、線量測定委員が各施設にお伺いして、エックス線撮影室の漏洩線量測定する事業を行っています。

漏洩線量測定をご希望の方は、岡山県診療放射線技師会までご連絡お願いいたします。

測定日時について調整させていただきます。

測定の流れ

1. 測定図面の作成

初回測定時に今までの線量測定結果とX線撮影室の平面図を担当者にお渡し下さい。

(2回目以降は必要ありません) 戴いた図面を元に漏洩線量測定図面を作成します。

2. 漏洩線量の測定

測定員2名以上を派遣し、漏洩線量測定を実施します。

(X線装置の操作は病院様側でお願いします。これをもって病院様の立会者とさせていただきます。)

サーベイメータ、ファントム、トランシーバー等、必要な備品は当方で準備いたします。

3. 測定結果報告書の作成

後日、漏洩線量測定結果報告書をお届けします。法定規制値以下と認められた施設には撮影室入り口ドアに貼る、測定済証のステッカーもお送りします。

測定時間

1室約30分

測定料金

基本料金 **22,000 円** + 1 装置・1 管球追加毎に **11,000 円** を加算させていただきます。

測定をご希望の施設がありましたら、岡山県診療放射線技師会まで、お気軽にご相談下さい。

お申し込み先

〒700-0867 岡山県岡山市北区岡町 16-10-201

(公社) 岡山県診療放射線技師会 施設線量測定委員会 宛

Tel 086-235-1313

令和8年度 (公社)岡山県診療放射線技師会 行事(活動)予定

令和8年

8月

--	--	--	--	--

9月

9月11日～13日	金土日	※ 第42回日本診療放射線技師会学術大会	HP参照	山形ビッグウイング(山形県)
9月5日	土	第164回岡放技セミナー	14:00～17:00	岡山済生会総合病院

10月

--	--	--	--	--

11月

11月28日・29日	土日	第22回中四国放射線医療技術フォーラム	HP参照	くにびきメッセ(島根県)
------------	----	---------------------	------	--------------

12月

12月13日	日	第7回 倉敷リレーマラソン2026	HP参照	倉敷マスカットスタジアム
--------	---	-------------------	------	--------------

令和9年

1月

1月24日	日	第165回岡放技セミナー	未定	Web開催
-------	---	--------------	----	-------

2月

--	--	--	--	--

3月

--	--	--	--	--

4月

--	--	--	--	--

5月

--	--	--	--	--

6月

--	--	--	--	--

7月

--	--	--	--	--

※ 日本診療放射線技師会(JART)主催